

ひがしっ子



下野市立国分寺東小学校
令和2年度 第6号

R2. 9. 4発行

特別な夏

コロナ禍に翻弄され、例年とは大きく違った令和2年度の「特別な夏」。ご家庭ではどのように過ごされましたでしょうか。ひがしっ子たちは、本来であれば8月末日まで夏休みのところ、8月17日から元気に登校し、連日の酷暑の中でも頑張って学習を進めています。9月に入っても、気温の高い日が続いていますが、本校では当面今月末まで、登下校中の「暑さよけの傘」「首に巻く保冷剤」「通気性のよい帽子」の使用も可とし、感染予防対策に加えて熱中症予防にも十分注意して、前期の総仕上げに取り組みたいと思います。



登校風景

8月17日の話から

校長先生のところに届いたプリントにこんな文章がありました。

☆テレビで、「感染した人が退院したときに近所の人に拍手で迎えられた様子や、学校で「密にならないように」と上級生が下級生に水道を譲っている様子、手作りのマスクを施設に寄付している様子を見たとき、心が温かくなりました。人のために何かをすると、した人も、してもらった人も心が元になります。感染予防のための行動はもちろんですが、自分のため、人のため、社会のために何ができるかを考え、行動することで、感染の不安を和らげ、感染の拡大を防いでいけるのではないかと思います。

国分寺東小も、たくさんの地域の方にお世話になっています。「新型コロナウイルスとの戦い」が始まってからも、感染予防に欠かせない手作りのマスクや消毒で使う雑巾を地域の方からいただきました。また、私たちの生活のためにひと時も休むことのできない数多くの仕事をしている方々が、今日も、誰かのためにがんばってくださっています。私たちも、自分のため、そして誰かのために、やるべきことをしっかりやっていきましょう。

その一つ目は、「新型コロナウイルスに、自分がうつらないように、そして、誰かにうつさないように、手洗い、マスクなどをしっかりする」ことです。二つ目は、「誰かのことを考えて行動する」ということです。自分だけでなく、みんなが楽しくなるように、逆に言えば、困っている人、悲しんでいる人はいないかどうかを気遣いながら行動しましょう。特に、自分の身近に、新型コロナウイルスに感染した人や家族が感染した人がいても、その人の苦しみや悲しみ、不安などを思いやって、決して責めたり、差別をしたりしないことが大切です。

どんなに気を付けて生活していても、新型コロナウイルスに感染してしまうことは誰にでも起こりうることです。感染した人のつらい気持ちに寄り添って考え、行動することは、自分のことも支えてもらえることにつながるのです。「自分のため」という気持ちに、「誰かのため、みんなのため」という気持ちを加えて、がんばりましょう。

お世話になりました

「クリーン活動」

8月22日と29日、第1回PTAクリーン活動が行われました。密を避けるため、分散登校のグループで2回に分けてのクリーン活動になりましたが、両日とも、たくさんの保護者・児童・職員が参加して、早朝から汗ばむ陽気の中、校庭や中庭、花壇の除草作業に精一杯頑張ってくださいました。

今年度は、長期の臨時休校期間に校庭が使われなかった分、雑草が校庭の中央部まで広がり、職員が懸命に草取りをしても、なかなか取り切れなかったのですが、おかげさまで見違えるようにきれいになりました。本当にありがとうございました。



創立40周年記念

全校集合写真・航空写真撮影



8/27 航空写真撮影

「ひがしっ子第5号」でもお知らせいたしました創立40周年記念事業の一環として、8月20日(木)に全校集合写真を、8月27日(木)に航空写真をそれぞれ撮影しました。

両日とも晴天高温の中での撮影だったのですが、全児童が落ち着いて整然と整列し、短時間で撮影を終えることができました。

撮影した写真は下敷きにし、記念品として全児童に配布し、日頃お世話になっている地域のボランティアの皆様にはクリアファイルを贈呈させていただく予定です。今から仕上がりを楽しみます。



8/20 全校集合写真撮影



創立30周年記念(平成22年)の全校集合写真